

令和3年 第8回（12月） 筑紫野市議会定例会
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

議案第62号から議案第64号の3件について、審査の経過と結果をご報告致します。

まず、『議案第62号、筑紫野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定』について、ご報告致します。

本件は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

家庭的保育事業等とは、0から2歳の児童を最大19人まで保育をする事業で、現在市内に施設はありません。

主な改正内容は、事業者における書面等の作成や保存等について、電磁的記録で対応可能とするものです。

これを定める事により、事業者が書面を作成する際に、パソコンのハードディスク等に保存することが可能となるとの説明を受けました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案の通り可決すべきものと決しました。

次に、『議案第63号、筑紫野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定』について、ご報告致します。

本件は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

市内には、特定教育・保育施設として、認可保育所、

公立幼稚園、認定こども園があります。

主な改正内容は、保育所等の事業者の業務負担軽減等を図る観点から、事業者等における書面等の作成保存について電磁的記録により対応可能であること、また、保育所等の利用者、いわゆる保護者への説明等のうち書面で行うものを電磁的方法により対応することが可能であることなどを規定しているとの説明を受けました。

委員会では、新旧の違いについて質疑があり、保護者が希望すれば電磁的記録で行えるというものを、改めて規定しなおしているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案の通り可決すべきものと決しました。

次に、『議案第64号、財産（建物）の取得』の件について、審査の経過と結果をご報告致します。

本件は、筑紫小学校の児童数が令和10年度をピークに、8教室不足すると見込んでいる事から、プレハブ校舎を建設し、5年間の賃貸借契約終了後にプレハブ校舎を取得するもので指名競争入札を行い、取得価格は1億9,800万円です。校舎建設期間は令和4年12月31日迄、賃貸借物件は、軽量鉄骨造り、プレハブ2階建て、延べ床面積945平米程度、本館からの渡り廊下を1階、2階の各1か所に設置する予定となっているとの説明を受けました。

委員会では、5年リースやプレハブを選定した経緯について質疑があり、高額のため、支出の平準化を図るためであり、児童数のピークが令和10年度であると推測しておりプレハブ校舎が必要でなくなった場合には、その敷地の有効利用も検討できることから選定したとの答弁があ

りました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上報告を終わります。

令和3年 第8回（12月） 筑紫野市議会定例会
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

議案第68号及び議案第69号の2件について、審査の経過と結果をご報告致します。

まず、『議案第68号、令和3年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）』について、ご報告致します。

本件は、歳入歳出をそれぞれ2億4,757万4千円増額し、歳入歳出予算総額を69億9,534万3千円とするものです。

歳出の主な内容は、居宅介護サービス給付費として2億2,931万7千円、居宅介護サービス計画給付費として3,584万7千円を増額するものです。

歳入の主な内容は、居宅介護サービス費、居宅介護サービス計画給付費等の増加に対する国庫負担金として5,530万6千円、診療報酬支払基金交付金として7,466万4千円、県負担金として3,456万6千円増額するものとの説明を受けました。

委員会では、居宅介護サービス給付費が特に多いが何故かとの質疑があり、昨年コロナウイルス感染症で利用控えがあった分の反動が、今年度の大幅な増加になっていると考えられるとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第69号、令和3年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計補正予算（第1号）』について、ご報告致します。

本件は、歳入歳出予算8,104万4千円の増減はなく、歳出科目の組替えで、新型コロナウイルス感染防止対策として、審査会の一部をウェブ審査会とした為、一般管理費である資料の事前送付及び審査後、返却のための郵便料等を52万5千円増額し、費用弁償52万5千円を減額するものであるとの説明を受けました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上報告を終わります。

令和3年 第8回（12月） 筑紫野市議会定例会
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『請願第1号、教育予算の拡充等に関する請願』について、審査の経過と結果をご報告致します。

委員会ではまず、本件に関する現状等について執行部から、新型コロナウイルス感染症対策など新たな活動、新学習指導要領への対応など、教職員の様々な活動、準備等の時間の捻出には大変厳しい状況である事。本年度、改正公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律に基づき、小学校1、2年生は1クラス35人以下で、3年生から6年生は40人以下で学級編制をしているとの説明を受けました。

また、現在、学校では、児童生徒を取り巻く諸環境等が複雑化、多様化しており、少人数学級実施に必要な教職員の定数が改善されれば、より安定した学級運営が行われるのではないかと考えられることから、教職員定数等の充実、改善について、本年も、福岡県市長会へ議案を提出している、との説明を受け、審査を行いました。

意見、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上報告を終わります。